

まえがき

問題について話し合う空気があれば、 すぐ解決する。

問題を解決する時に一番大切なことは、その問題について話し合える空気をつくることです。

学校や企業で不祥事があった時に、最初の記者会見で「とくに問題はありませんでした」と発表をすることが一番危ないのです。

「問題がありません」と発表するには、2つの理由があります。

問題があっても、隠している。

問題があることにすら、気づいていない。

問題がないのをよしとしているところは、問題があることをできるだけまわりにも認めさせたくない。

自分でも認めたくない体質があるのです。

問題があってもかまいません。

その問題を話し合える空気があれば、問題を解決していけるのです。

いろいろな問題が出てきて現場の人たちがみんな気づいていたのに、リーダーも含めてそれを話し合える空気がないようでは、いつまでたっても問題は解決できません。

気づかなかつたからではありません。

話し合う空気がないと、提案ができません。

提案がなくなると、問題はどんどん拡大して被害が大きくなります。

問題がないことを喜ぶのではなくて、問題がないとしたら、それは見つからないと考えると、より危機意識を持たなければなりません。

問題に対してビクビクしないように、何か問題が起こった時には、すぐにみんなで話し合える空気をつくっておくことが問題解決のスタートラインです。

スピード
問題解決

その①

問題について、
話し合える空気をつくろう。